

令和2年9月7日

東京都千代田区四番町5番地3

科学技術振興機構（JST）

Tel : 03-5214-8404（広報課）

URL <https://www.jst.go.jp>

出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）における BionicM株式会社への出資決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）において、BionicM株式会社（本社：東京都、代表取締役 孫 小軍、以下「BionicM」という）からの第三者割当増資^{注1}の引き受けを実施しました。

BionicMは、ロボティック義足の研究開発および実用化を行う東京大学発ベンチャーです。自身も義足ユーザーで創業者の孫代表取締役がソニーでのエンジニア経験と東京大学でのロボティクス工学研究を基に起業を目指し、JSTの大学発新産業創出プログラム（START）の平成28年度採択課題「障害者のモビリティを高める高性能義足の開発」での研究開発成果を基に、平成30年12月に設立されました。東京大学のロボティクス工学研究に基づく最先端テクノロジーを活用することで従来の義足の問題を解決し、自然な動きを実現する小型かつ軽量な高性能義足を生み出します。

BionicMが開発する複数のセンサーを搭載した義足は、足を振り出す際や障害物とぶつかった際など、さまざまな場面において歩行環境や義足ユーザーの意図を検知できます。また、動力を生み出すモーターも搭載しており、通常の歩行時はもちろん、歩行開始時の義足の振り出し、椅子からの立ち上がりや階段を上る時など特に力の必要な動作の際にもパワーアシスト機能によりユーザーを力強くサポートします。また、段差などでつまずきを検知した場合には膝折れを防止するための動力を駆動させることでユーザーが転倒しないよう支えます。

BionicMは、自然な歩行を実現する製品を世界の義足ユーザーに提供することによって、義足を使うことへの負担感や転倒に対する恐怖心を無くし、日常生活を大きく向上させることに貢献します。

JSTは平成26年4月より「出資型新事業創出支援プログラム」（略称：SUCCESS Support Program of Capital Contribution to Early-Stage Companies）を実施しています。本事業は、JSTの研究開発成果の実用化を目指すベンチャー企業に対しJSTが出資並びに人的および技術的援助を行うことでその創出および成長を促進し、当該ベンチャー企業が行う事業活動を通じてJSTの研究開発成果の実用化・社会還元を促進することを目的としています。出資を通じてJSTがベンチャー企業の株主になることで、民間の資金を誘引する「呼び水効果」も志向しています。

URL : <https://www.jst.go.jp/entre/>

<企業概要>

企業名	B i o n i c M株式会社
設立日	平成30年12月
本社所在地	東京都文京区
代表取締役	孫 小軍
事業内容	ロボットと人間を融合するモビリティデバイスの研究および開発 ロボティック義足の研究開発および事業化

<事業展開>

B i o n i c Mは、膝上での下肢切断者に向けたパワード膝継手と、膝下での下肢切断者に向けたパワード足部を製品化し、世界に向けて普及させることにより下肢切断者のアクティブな生活を支えていくことを目指します。



図 パワード膝継手(左)とパワード足部(右)

<用語解説>

注1) 第三者割当増資

特定の第三者に新株引受権（新株の割り当てを受ける権利）を与えて行う増資のこと。会社の資金調達の方法の1つで、会社の自己資本を充実させ、財務内容を強化することができる。

<お問い合わせ先>

<B i o n i c M株式会社に関すること>

B i o n i c M株式会社

担当：関口 哲平（セキグチ テッペイ）

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

Tel：03-3868-2679

E-mail：sekiguchi[at]bionicm.com

URL：http://www.bionicm.com/

<SUCCESS事業に関すること>

科学技術振興機構 起業支援室

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

Tel : 03-6380-9014 Fax : 03-5214-0017

E-mail : entre[at]jst.go.jp